

農 研 速 報

令和 8 年10月 1 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況（9月28日現在、水戸市）

県名 (試験場所)	品種	生育の状況	問題点	これまでに講じた対策 及び今後の方針	備考
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ べにはるか	気象概況：8月27日～9月28日(直近5カ年の平年値との比較(水戸地方気象台観測値))。 上記期間の平均気温は22.5℃で平年よりかなり低かった(−2.1℃)。 降水量は675mmで、平年よりかなり多かった(平年比306%)。 日照時間は62時間で、平年よりかなり短かった(平年比34%)。 生育概況：令和2年度より株間を25cmから35cmに変更した。なお、両品種ともに、令和3年度から令和7年度の5カ年の平均値を平年値として記載した。 地上部の生育： 「ベニアズマ」の茎葉重はやや軽く、「べにはるか」の茎葉重はかなり軽かった。 地下部の生育： 「ベニアズマ」の1株当たり塊根数はかなり多く、塊根1個重はかなり軽く、総いも重、上いも重は軽かった。また、「べにはるか」の1株当たり塊根数はやや多く、塊根1個重は平年並、総いも重、上いも重はやや重かった。 8月下旬の調査以降、台風、秋雨前線の影響により平年より気温が低く推移したこと等により、両品種ともつるの生育が抑制され、茎葉重がやや軽い～かなり軽かった。一方で上いも重(上いも収量)は品種間で差が見られ、「ベニアズマ」は肥大不足により軽く、「べにはるか」の肥大は順調なためやや重かった。ナカジロシタバ等の害虫の発生は少なく、葉の食害痕はあまり目立たない。	特になし	7月15日、8月25日にナカジロシタバの防除を行った。 今後は霜に注意して掘り取りを行う。 また、冠水したほ場、過湿気味のほ場では、病害等による塊根の腐敗が発生しやすいため、収穫～貯蔵中に腐敗した塊根が混ざっていないか注意する。	

表 生育調査(挿苗後132日、9月28日調査)

品種	茎葉重			1株当たり塊根数			塊根1個重			総いも重			上いも重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	342	103 (349)	93 (331)	8.3	89 (9.3)	139 (6.0)	130	115 (114)	63 (207)	309	103 (300)	93 (331)	293	104 (280)	91 (322)
べにはるか	313	66 (473)	66 (471)	7.2	89 (8.1)	109 (6.6)	173	102 (169)	98 (176)	355	91 (391)	107 (332)	344	92 (374)	106 (323)

() 内は前年または平年の数値。平年値は令和3～7年(5カ年)のデータの平均値(令和2年より株間を25cmから35cmに変更)。

塊根は直径3mm以上のもの、上いも重は1個50g以上のものとした。

挿苗日: 5月19日、黒マルチ栽培、栽植密度: 286株/a (畦間100cm×株間35cm)、施肥量(kg/a): N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

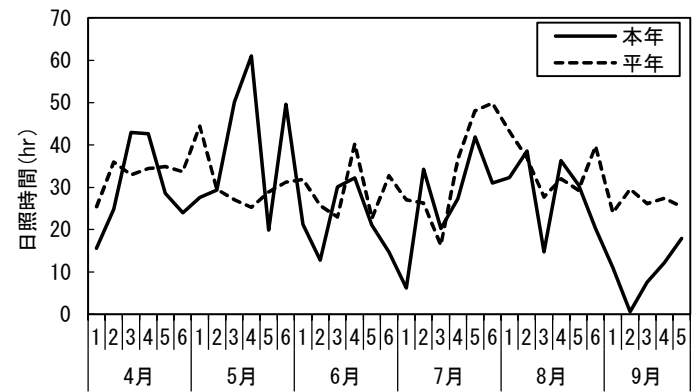
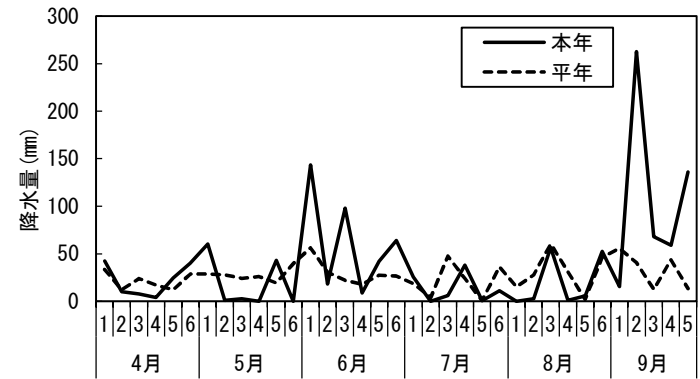
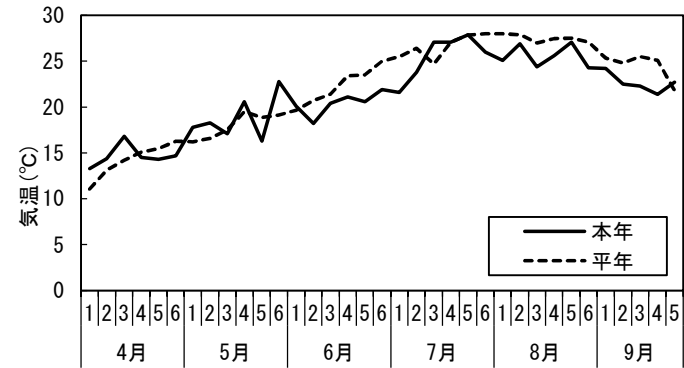
農研所内圃場における生育状況（9月28日撮影）



ベニアズマ



ベにはるか



半旬別の平均気温、降水量、日照時間
(水戸地方気象台データをもとに作成)